

## 令和2年度 さいたま市立土合中学校 学校関係者評価書

さいたま市立土合中学校

学校関係者評価委員長 田辺 雄一



### 1 学校関係者評価の実施体制

#### (1) 構成人数

9名 (内 学校3名)

#### (2) 実施回数

1回

### 2 学校関係者評価 (学校関係者評価委員の意見等)

- ・コロナ禍の影響により、今年度は多くの地域行事や校内活動がなくなってしまったため、来年度は、地域、家庭、学校のつながりをゼロから構築することになるかもしれない。学校、PTA及び地域の育成会においては、前任と後任の担当者として確実な引継ぎをする必要がある。
- ・学校運営協議会では、機能の1つとして、「教職員の任用に関して、教育委員会に意見を述べる。」というものがある。委員が、断片的な情報だけを家族や地域住民から聞いて、任用について発言することについては慎重に考えていきたい。
- ・教職員は、強い志をもって職に就いている。学校での指導についてPTAや地域住民は協力をすべきであると考えている。学校運営については、校長の考えを支援していきたい。家庭の問題については、学校と地域で一体となり、解決していきたい。
- ・「ステップ・アップ・ルーム」の開設については、喜んでいる家庭が多くある。生徒が登校できていることを嬉しく思っている。最近、両親が日中に不在の家庭が増加しているため、生徒にとっては家にいる環境が楽なのではないか、と考える。
- ・土合中学校は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を十分に行っている。教職員の取組についてもっと発信できるとよい。
- ・保護者アンケート「思いやりの心の育成」の項目が昨年度比で上昇している。本校の生徒が多様性を受け入れ、いじめや差別をしない雰囲気の結果として出ているのではないか。
- ・保護者アンケート「保護者等への積極的情報発信」の項目が昨年度比で上昇しているが、本校ホームページの内容を見るとやや疑問が残る。他地域から転入してくる生徒や保護者はホームページを見て学校を決めるので、常に最新の情報を提供してもらいたい。

### 学校関係者評価を受けた学校の対応

- ・今年度は学校行事や地域とつながる活動が大幅に絶たれてしまったため、関連行事について担当教職員の経験が乏しくなってしまった。各担当が文書を電子化して残し、後任のために確実に引継ぎを行う必要がある。
- ・不登校の生徒が「ステップ・アップ・ルーム」の開設により、家庭に引きこもることなく学校とのつながりができている。次年度も人員を適切に配置し、該当生徒が登校しやすくなるよう丁寧な運営を心掛けていきたい。
- ・新型コロナウイルス感染症対策については、気を緩めることなく、生徒及び教職員に対して徹底していきたい。また、学校だより及び学年だよりを用いて本校の取組を積極的に発信していきたい。
- ・本校ホームページについては、定期的に更新し、最新の情報を外部に提供していく。特に、学校だよりを確実に掲載していきたい。

さいたま市立土合中学校長

吉田 賀一

